

これからの公園とSDGsの取り組み

名古屋市みどりの協会のSDGs宣言

みどり豊かな暮らしの実現という経営理念のもと、SDGs（持続可能な開発目標）に
取り組み、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現に向けて貢献していきます。



SDGs（持続可能な開発目標）とは、

- ◇ 2015年9月、国連本部において193の加盟国の全会一致で採択された国際目標です。
- ◇ 世界全体で2030年を目指した17のゴールと169のターゲットで構成されています。
- ◇ 気候変動や格差などの幅広い課題の解決を目指しています。
- ◇ 先進国も途上国もすべての国が関わって解決していく目標です。

1. みどりの協会のSDGsの取り組み

公園はあらゆる人にとって健康とやすらぎの場であり、また環境や防災の面でも重要な公共の資源でもあります。当協会は公園の管理運営者としてSDGsの推進に取り組んでいきます。

2. SDGsの取り組み分類

当協会は公園の管理運営についてさまざまな視点から検討を行い、その中から次の6つの項目に分類してSDGsに取り組むこととしました。

- | | | |
|----------------|------------|------------|
| I 安心・安全(健康・福祉) | II 子育て・教育 | III 交流・協働 |
| IV 観光・活力・景観 | V 環境・生物多様性 | VI 防災・危機管理 |

3. みどりの協会のSDGsの全体図



4. 分類ごとのSDGsの主な取り組み

I 安心・安全(健康・福祉)



公園を利用する方々や地域の皆さんの声に耳を傾け、安心して安全な誰もが使いやすい公園づくりを目指していきます。また、みどりを活かした健康づくりを促進することで、公園利用者の健康増進の充実に寄与します。

ユニバーサルデザインの推進

手すりやスロープの設置、車イスの車輪が引っかからないグレーチング(側溝のふた)への改良、絵文字(ピクトグラム)による公園内の案内地図設置など、ユニバーサルデザインに配慮した公園づくりを目指します。

健康やスポーツをテーマとしたイベントの実施

公園が健康づくりや地域の交流の場となるよう、引き続き健康やスポーツをテーマとしたイベントを実施していきます。

健康器具の導入

公園内の遊歩道にぶら下がり健康器具や背伸ばしベンチを導入するなど、みどりを活かした健康づくりを促進することで、公園利用者の健康増進に寄与します。

園芸福祉活動の推進

花壇の植栽整備など、誰もが人々と交流し、楽しい時間を過ごせるよう、公園の中でその場所や空間を提供できるよう努めます。



通行しやすい園内に整備



スポーツイベント(庄内緑地)



健康遊具の増設(みどりが丘公園)



園芸福祉花壇活動(荒子川公園)

II 子育て・教育



みどりに関する多様な学びの場、学習機会を提供することで、子どもから大人まで幅広い世代の学びの場を提供します。

子どもが楽しく遊べる施設整備の推進

公園内の遊具の安全性を確保するとともに、授乳施設を設置するなど子育てしやすい公園の管理を心がけます。

環境教育プログラムの実施

自然環境に関する知識の向上を図るためプロジェクトワイルドなどを実施し、子供から大人まで幅広い世代の学びの場を提供します。

緑の相談コーナーの設置

草花や果樹など植物の育て方、土や肥料の種類など、緑に関する様々な疑問や悩みを、窓口や電話により専門家に気軽に相談いただける場を提供します。



プロジェクト・ワイルド



緑の相談コーナーの様子

Ⅲ 交流・協働



公園に必要なみどりを保全・創出し、地域や企業の皆さんとの協働による適切な維持管理により、賑わいや安心・安全なみどりの機能を十分に活かせる持続可能な公園運営を目指します。

多様な方々との連携による公園の活用

当協会は、公園を核とした市民・団体・行政・事業者をつなぐコーディネーターの役割を担う中間支援組織として、こうした方々の公園運営への参画の場づくりを図ります。

なごや花のまちづくりネットワークの推進

花やみどりのまちづくり活動に取り組む名古屋市内の団体や個人の方を対象に園芸技術の向上や情報交流を行うことでネットワーク化を図ります。

なごやの森づくりパートナーシップ連絡会の推進

名古屋市内で自然環境の保全や再生に取り組む市民活動団体と名古屋市で設立された「なごやの森づくりパートナーシップ連絡会」の事務局として、当協会はこれからもこうした活動の支援を行っていきます。定例会や研修会を通して団体相互の情報交流を行い、課題の共有化や活動の活性化、仲間づくりを進めていきます。

市民参加型の公園管理（西の森づくり）の推進

2000年から農業文化園・戸田川緑地において市民・企業・行政のパートナーシップにより、苗木を植え、次世代に伝える豊かな森づくりがスタートしました。当協会は、これからも西の森を豊かな森として次世代に引き継いでいけるよう努めます。



なごや花のまちづくりネットワーク
スキルアップ講習会



市民協働による西の森づくりの推進
(農業文化園・戸田川緑地)

IV 観光・活力・景観



公園や庭園の魅力向上により施設のブランド力を高め、観光面からも持続可能な公園運営につなげ、都市力の向上に寄与します。また Park-PFI などによる民間活力の導入にも対応していきます。

代表的な公園の再生

庄内緑地や徳川園といった名古屋を代表する公園や庭園のさらなる魅力向上を図ることで、みどりを生かした名古屋のまちの活性化につなげます。

公園を核としたまちづくり

公園は、まちの活性化や賑わいをもたらす重要な公共の資源であり、これを核として地域のまちづくりに貢献していきます。

Wi-Fi の整備やトイレの洋式化など公園利用者へのサービスの充実

現状のストックや資源を効率的に活用し、費用対効果の高い公園運営を進めます。Wi-Fi の整備やトイレの洋式化などにより、公園利用者が居心地よく快適に過ごしていただける空間の整備を目指します。

Park-PFI 事業などへの参画

魅力ある公園づくりを進めるにあたり、従来の仕組みに加え、Park-PFI などの新しい仕組みにも積極的に参画します。

SNS を活用したみどりの魅力発信

多様な情報ツールにより、みどりの魅力を積極的に発信し、その共有を図るよう努めます。



大噴水(庄内緑地)



ハナショウブと和傘(徳川園)



季節に合わせたディスプレイ
(久屋大通庭園フラリエ)



満開のラベンダー(荒子川公園)

V 環境・生物多様性



みどりに関するイベントや自然観察会などを通じて、持続可能な社会の大切さなど環境保全につながる機会の充実に努めていきます。また、市民協働により身近な自然の保全・再生に向けた取り組みも進めていきます。

エコライフの推進

グリーンカーテンの普及啓発やみどりの講演会の実施など、生活にみどりを取り入れる必要性を発信することで、協会として積極的に環境保全の取り組みを進めていきます。

落ち葉・剪定枝のリサイクル化

落ち葉が腐葉土として自然に帰り、また剪定枝がチップ化により再利用されるよう努めます。

協働による樹林地等の保全

市民活動団体や行政と協働し、八竜緑地（守山区）などの樹林地・湿地の保全活動を進め、生物多様性保全の取り組みを継続します。

生物多様性保全の積極的参画

各公園で樹林地や湿地、農地などの、今あるみどりを適切に保全し、生物多様性の豊かな自然環境を守り育てていきます。

●農業文化園・戸田川緑地では指定管理者「チームYMO（名古屋市みどりの協会・(株)山田組・(株)オオバ）」が、環境活動の推進により持続可能な社会の形成に大きく貢献したとして、2023年に「愛知環境賞 銅賞」を受賞しました。



グリーンカーテンの普及啓発(みどりが丘公園)



剪定枝のチップ化によるリサイクル

(東谷山フルーツパーク)



「愛知環境賞 銅賞」を受賞した体験学習の様子

(農業文化園・戸田川緑地)



猪高緑地 体験会

VI 防災・危機管理



地震や気候変動などに起因する風水害、ヒートアイランド現象などに対応するため、公園などの都市防災機能を高め、災害に強いまちづくりを進めていきます。

危機管理マニュアルへの対応

グリーンインフラの重要性を再認識し、公園ごとの危機管理マニュアルに基づいて、都市の安全性をより高めます。

指定緊急避難場所及び指定避難所への対応

協会が管理運営する公園のうち、指定緊急避難場所及び指定避難所とされた公園を住民が理解し、災害時に利用できるようPRし、受け入れ態勢を整えるよう努めます。

公園安全管理の充実

公園利用者が安心・安全に利用できるよう公園の除草や清掃、樹木の刈り込みなど計画的な維持管理をしていきます。

公園施設の安全管理

計画的・定期的な点検により、遊具の損傷などを早期に発見し修繕を行います。



防災イベントの開催

(農業文化園・戸田川緑地)



遊具の安全管理点検

(公財) 名古屋市みどりの協会の概要

当協会は都市緑化、公園緑地及び都市農業の振興に関する事業を通して、地域の良好な生活環境づくりと、都市農業の発展に寄与することを目的とした公益財団法人です。現在、庄内緑地を始めとする 10 の指定管理施設を中心として、魅力ある公園の管理運営に努めています。